

海洋政策研究セミナー（2016/2/29）

日本の選択を考える

海洋遺伝資源をめぐる国連の動きにどう対処するか

議論の経緯と問題の所在

東京大学大学院総合文化研究科 西村 弓

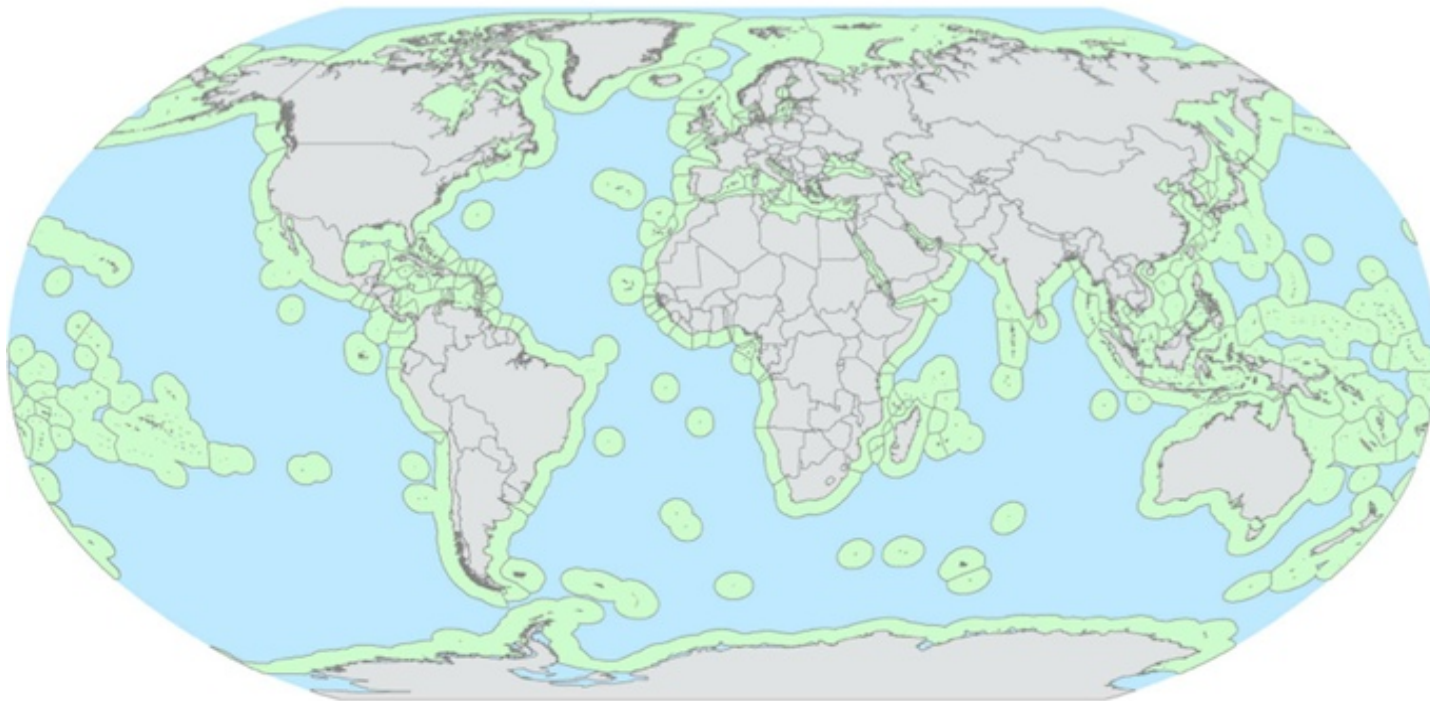
背景と用語

BBNJ :

Marine **B**iological Diversity **b**eyond Areas of **N**ational **J**urisdiction

国家管轄権区域外の海洋生物多様性

国家管轄権区域外の海洋 = 公海・深海底（下記水色部分）



出典 “Conservation,” Univ. of Washington, April 9, 2014

既存の法的枠組み

国連海洋法条約（UNCLOS）1982年採択
採択当時は生物多様性問題は意識されず

生物多様性条約（CBD）1992年採択
BBNJは適用対象外



2004年 国連総会、BBNJ非公式作業部会設置を決定
（A/RES/59/24）

2015年1月 非公式作業部会、UNCLOS下での拘束的
文書の作成を国連総会に勧告（A/69/780）

国連総会決議 A/RES/292 (19 June 2015)

The General Assembly,

1. *Decides* to develop **an international legally binding instrument** under the United Nations Convention on the Law of the Sea on the conservation and sustainable use of marine biological diversity of areas beyond national jurisdiction and to that end:

- (a) Decides to establish, prior to holding an intergovernmental conference, a preparatory committee, [...] to make substantive recommendations to the General Assembly on the elements of a draft text of an international legally binding instrument under the Convention, taking into account the various reports of the Co-Chairs on the work of the Ad Hoc Open-ended Informal Working Group to study issues relating to the conservation and sustainable use of marine biological diversity beyond areas of national jurisdiction, and that the preparatory committee will start its work in 2016 and, by the end of 2017, report to the Assembly on its progress;
- (c) Requests the Secretary-General to convene the sessions of the preparatory committee in 2016 from 28 March to 8 April and from 29 August to 12 September;

2. *Also decides* that negotiations shall address **the topics identified in the package** agreed in 2011, namely the conservation and sustainable use of marine biological diversity of areas beyond national jurisdiction, in particular, together and as a whole, **marine genetic resources**, including questions on the sharing of benefits, **measures such as area-based management tools**, including marine protected areas, **environmental impact assessments** and **capacity-building and the transfer of marine technology**;

3. *Recognizes* that the process indicated in paragraph 1 above should **not undermine existing relevant legal instruments and frameworks** and relevant global, regional and sectoral bodies;

海洋遺伝資源（MGR）

意見分布の構図

国家管轄権区域外のMGRについては、

G77諸国など：「**人類の共同財産（Common Heritage of Mankind：CHM）**」原則が適用される / されるべき

→国際管理下での利益配分



日米加露など：**公海自由**原則が適用される

→自由なアクセスが基本

: 海洋遺伝資源 (MGR)

論点

- UNCLOSとの関係 (CHMの範囲)

第1条 この条約の適用上、

- (1) 「深海底」とは、国の管轄権の及ぶ区域の境界の外の海底及びその下をいう。 [...]
- (3) 「深海底における活動」とは、深海底の資源の探査及び開発のすべての活動をいう。

第11部

第133条 この部の規定の適用上、

- (a) 「資源」とは、自然の状態で深海底の海底又はその下にあるすべての[...]鉱物資源[...]をいう。

- MGRへのアクセス規制と海洋科学調査 (Marine Scientific Research: MSR)
- 利益配分のあり方

海域型管理ツール

意見分布の構図

EU、豪、NZ、米など：漁業禁止を含む**海洋保護区（Marine Protected Area: MPA）**設置の可能性



日、中、韓、ノルウェーなど：漁業管理については、**地域的漁業機関（Regional Fisheries Management Organizations: RFMO）**等の既存枠組みに任せるべき

論点

- MPAの設置基準・規制内容
- 既存枠組みとの関係

漁業につきRFMO、CBDのEcological or Biological Significant Areas (EBSAs)、国際海底機構（ISA）のAreas of Particular Environmental Interest (APEIs)、国連食糧農業機関（FAO）のVulnerable Marine Ecosystems (VMEs) 等

環境影響評価（EIA）

意見分布の構図

EUなど：統一的な新EIA基準の策定



日、米、加など：既存の規範に基づいた実施

e.g. UNCLOS第206条 いずれの国も、自国の管轄又は管理の下における計画中の活動が実質的な海洋環境の汚染又は海洋環境に対する重大かつ有害な変化をもたらすおそれがあると信ずるに足りる合理的な理由がある場合には、当該活動が海洋環境に及ぼす潜在的な影響を実行可能な限り評価するものとし、[...]その評価の結果についての報告を公表し又は国際機関に提供する。

論点

- 統一的なEIA基準導入の是非

キャパシティビルディングと技術移転

意見分布の構図

G77  先進国

UNCLOS第266条 海洋技術の発展及び移転の促進

(1) いずれの国も、直接に又は権限のある国際機関を通じ、公正かつ合理的な条件で海洋科学及び海洋技術を発展させ及び移転することを積極的に促進するため、自国の能力に応じて協力する。

(2) いずれの国も、開発途上国の社会的及び経済的開発を促進することを目的として、海洋資源の探査、開発、保存及び管理、海洋環境の保護及び保全、海洋の科学的調査並びにこの条約と両立する海洋環境における他の活動について、海洋科学及び海洋技術の分野において、技術援助を必要とし及び要請することのある国[...]の能力の向上を促進する。 [...]

同第267条 正当な利益の保護

いずれの国も、前条の規定により協力を促進するに当たりすべての正当な利益（特に、海洋技術の所有、提供者及び受領者の権利及び義務を含む。）に妥当な考慮を払う。

おわりに

- パッケージとしての4要素と複雑な利害対立
G77：MGRに関する利益配分制度の導入
+ キャパシティビルディング・技術移転の強化
EU：MPA等による海域管理の推進 + EIAの強化
- 活動と保全の間の持続可能なバランス
- 制度設計と科学的知見